

神奈川東部方面線だより

相鉄・JR直通線 — 西谷駅～羽沢駅（仮称）間
相鉄・東急直通線 — 羽沢駅（仮称）～日吉駅間

羽沢駅（仮称）では、駅舎が姿を現しはじめました！

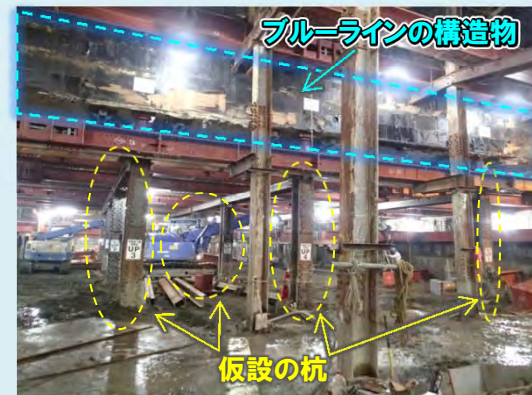
羽沢駅（仮称）では、設備工事や建物の仕上げ工事を進めています。外部では外壁や屋根の工事を、内部では階段や内壁、機械・電気設備工事を行っており、「鉄」・「レンガ」・「ガラス」などを用いたデザインが徐々に形になりつつあります。



新横浜駅（仮称）は、道路直下で工事中！

相鉄・東急直通線は、環状2号線の直下を通り、円形歩道橋の真下で横浜市営地下鉄ブルーラインとほぼ直角に交差します。新横浜駅（仮称）は、JR及びブルーラインとの乗り換え利便性を考えて、この交差部を新駅を中心とし、地下4階にホーム、地下1階に改札を設置してブルーラインのコンコースと接続する構造となっています。新駅工事は、現在、掘削がほぼ完了し、コンクリートによる構築工事が進んでいます。この過程で、ブルーラインを仮設の杭で支えて、その直下で掘削・構築する工法を採用して施工しています。

<完成予想図>



新駅名称は「羽沢横浜国大」駅に

相模鉄道から、相鉄・JR直通線で新設される羽沢駅（仮称）の名称を『羽沢横浜国大』駅とし、今後、都市鉄道等利便増進法に基づき、関係自治体との協議等の手続きを行うとの発表がありました。あわせて、駅舎のデザインが発表されました。

※ 駅名は、鉄道・運輸機構と相鉄、東急が都市鉄道等利便増進法に基づき神奈川県および横浜市に協議を行い、同意を得たうえで国の認定を受けて正式に決定します。



相鉄・東急直通線に使用する新しい車両（20000系）の第1編成が完成し、平成30年2月より運行を開始しています。（平成34年度下期開業までに順次導入予定）



「羽沢横浜国大」駅の外観（上）と内観（下）（イメージ）



● お問い合わせ先

● 独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構 東京支社 総務課広報担当
〒105-0011
東京都港区芝公園2-4-1 （芝パークビル）
TEL 03-5403-8780
FAX 03-5403-8770
<http://www.jrtt.go.jp/>

● 相模鉄道株式会社 相鉄お客様センター
〒220-0004
横浜市西区北幸2-9-14
TEL 045-319-2111
FAX 045-319-2191
<http://www.sotetsu.co.jp/>

● 東京急行電鉄株式会社 東急お客さまセンター
〒150-8511
東京都渋谷区南平町5-6
TEL 03-3477-0109
FAX 03-3477-6109
<http://www.tokyu.co.jp/railway/activity/network/>

事業の概要や工事の進捗状況など詳しい情報は、以下のホームページをご覧ください
「都市鉄道利便増進事業 相鉄・JR直通線、相鉄・東急直通線」ホームページ
<http://www.chokutsusen.jp/>

全体平面図・工事進捗状況

相鉄・JR直通線

①西谷駅付近



西谷駅付近から西谷トンネルに至る区間では、レールの敷設が概ね完了しました。引き続き電気工事を進めます。

②西谷トンネル



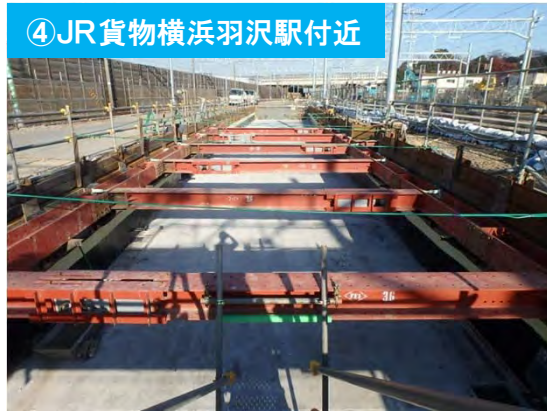
信号および通信ケーブルの敷設が完了しました。引き続き電気設備の設置工事を進めています。

③羽沢駅(仮称)



ホーム部はコンクリート構造物の工事が完了し、レールの敷設や設備の工事を進めています。

④JR貨物横浜羽沢駅付近



地下の駅からJR線につながる区間のコンクリート構造物を造っています。



相鉄・東急直通線

⑥新綱島駅(仮称)付近



新横浜駅(仮称)へのトンネル掘進に向け、坑外設備(泥水処理設備等)の工事を行っています。

⑦新綱島駅(仮称)



地下部で掘削を進めています。

⑤新横浜駅(仮称)



環状2号線の直下で地下駅の工事を進めています。写真は地下4階のコンクリート構造物の様子です。

⑧日吉駅付近



東横線を従来の高架橋の両脇に新設した高架橋に切り替え、旧高架橋の撤去を進めています。

羽沢駅(仮称)の名称については、羽沢横浜国大駅として今後手続きを進めることが相模鉄道から発表されました。

